共通機能／共通操作

共通機能と共通操作について

本機には、電話、メールなど様々な機能があります。
この章では、これらのたくさんの機能をお使いいただくために、機能の呼び出しかたや文字の入力方法など、本機をお使いいただくうえで共通して使う機能について説明しています。

様々な方法で機能を呼び出す

スイッチバーなどを使うと、本機の機能を簡単に呼び出すことができます（➔P.2-3）。

文字の入力方法

日本語、英語、ハングルを入力できます（➔P.2-8）。

着信時の動作設定

着信音の設定やバイブレータの設定など、着信時の動作を設定できます（➔P.2-6）。

電話帳

ご家族やお友達など、よく電話やメールをする相手の電話番号やメールアドレスなどを電話帳に登録できます（➔P.2-14）。

機能の呼び出しかた

本機には、機能の呼び出しかたとして次の3つの方法を用意しています。
1つの機能でもいろいろな呼び出しかたができるので、簡単に機能をご利用いただけます。

- スイッチバー
- メインメニュー
- ショートカットボタン

スイッチバーで機能を呼び出す

「発信」「メール」「Yahoo!ケータイ」「メディアプレイヤー」を呼び出すことができます。スイッチバーを使うと、音楽を聴きながらメールを作成したり、通話中にインターネットを利用するなど、複数の機能を切り替えながら利用できます。

1 待受中または操作中に［文字］

2 ◎で目的の機能を反転表示→●（選択）

- 起動中の機能を1つ終了するときは、終了する機能の画面を表示中に［終話］を押します。
- 起動中の機能をすべて終了するときは、スイッチバーの［アイコン］を反転表示して●（はい）を押します。

- 起動中の機能をすべて終了するときに、機能によっては終了するかどうかの確認メッセージが表示されることがあります。確認メッセージが表示されたときは、「はい」または「いいえ」を選択して終了します。
- メール作成中に他の機能を起動し、起動中の機能をすべて終了すると、他の機能を終了してメール作成画面に戻ります。
- 文字入力画面ではスイッチバーを表示させることはできません。

メインメニューから機能を呼び出す

本機のすべての機能は、このメインメニューから使うことができます。

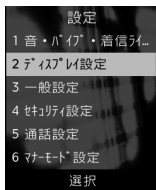
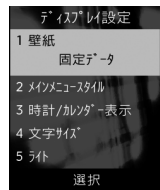
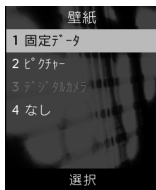
1 待受中に●

メインメニュー画面

2 目的の項目を反転表示→●（選択）

③ 操作②を繰り返して、目的の機能を呼び出し

〈例〉「壁紙」を変更する場合
「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」

「設定」を反転表示
→◉（選択）

「ディスプレイ設定」を反転表示
→◉（選択）

「壁紙」を反転表示
→◉（選択）

壁紙の設定画面が表示される

- 操作を1つ前の状態に戻すには、[CLEAR]を押します。
- メニュー操作を終了するには、[終話]を押します。[終話]を押すと待受画面に戻ります。ただし、複数の機能を同時に使っている場合は、起動中の他の機能に切り替わります。
- メニュー操作を途中でやめるには、[終話]を押します。設定中の内容を破棄して待受画面やもとの画面に戻ります。ただし、メニューによっては内容を破棄するかどうかの確認メッセージが表示されます。
- メニュー項目画面や一覧画面に「1」「2」などの項目番号が表示されている場合は、この数字のダイヤルボタンを押すことにより、項目を選択できます。

待受中にショートカットボタンで機能を呼び出す

待受画面でショートカットボタンを押して、機能を呼び出すことができます。

ボタン	呼び出される機能
[メール]	メールメニュー
[メール]（1秒以上）	S!メールの作成
[Y!]	Yahoo!ケータイのメインメニュー
[Y!]（1秒以上）	Yahoo!ケータイメニュー
[文字]	スイッチバー
◉（1秒以上）	誤動作防止の設定／解除
[上]	カレンダー
[下]	電話帳の検索
[下]（1秒以上）	電話帳の登録
[左]	着信履歴
[右]／[発信]	発信履歴
[CLEAR]	録音メッセージの再生
[CLEAR]（1秒以上）	簡易留守録の設定／解除
[＊]（1秒以上）	マナーモード設定画面
[＃]（1秒以上）	マナーモードの設定／解除

ボタン	呼び出される機能
[+]／[-]	受話音量の調節
[—](2秒以上)	カメラの起動
[►II]	ミュージックの一覧画面
[►II](1秒以上)	メディアプレイヤーの音楽再生画面

使いこなしチェック!

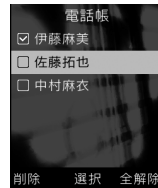
便利 ☞P.2-21

共通の操作

メニューを呼び出す

画面の右下に「メニュー」と表示されているときに[—]を押すと、メニューが表示されます。
メニューを実行するには、目的の項目を反転表示して◉(選択)を押します。

複数の項目を選択／選択解除する

削除や移動などの操作を行うときに「複数」などを選択すると、複数の項目を選択できます。
表示された画面で項目を反転表示して◉(選択)を押すと、項目の横に表示されている□にチェックが入り☑になります。この操作を繰り返して複数の項目を選択します。チェックが入っている項目を反転表示して◉(選択)を押すと、選択解除できます。
すべての項目を選択／選択解除するには[—](全チェック)／[—](全解除)を押します。

この取扱説明書では、複数の項目を選択する操作を「(項目を)チェックする」と表記します。

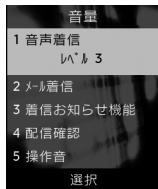
- 機能により、行える操作が異なります。
- 複数削除する場合にすべての項目を選択したときは、全件削除と同様に操作用暗証番号の入力が必要になります。

着信時の動作の設定

音声電話やメールなど、着信の内容ごとに着信音、着信音量、バイブレータの振動パターンを設定できます。
着信の内容ごとに設定を変えれば、着信音を聞くだけで(バイブレータの振動パターンだけで)、どの着信かを区別できます。

着信音量を設定する

着信音の音量を0(ミュート)～5の6段階で調整できます。

1. ◉→「設定」→「音・バイブ・着信ライト設定」→「音量」
2. 変更する着信の種類を選択

3. ✣で音量を調節

着信音を設定する

お買い上げ時にすでに本機に登録されている着信音の他にも、インターネットからダウンロードした着信音や着うた、ムービーなどを設定できます。

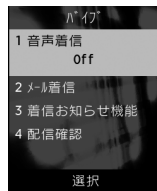
1. ◉→「設定」→「音・バイブ・着信ライト設定」→「着信音」
2. 変更する着信の種類を選択

3. 着信音の種類を選択
4. 着信音データを選択

着信音データを反転表示→[―](再生)を押すと、データが再生されます。

バイブレータを使う／解除する

着信時のバイブの振動パターンをOff、パターン1～パターン5の6種類から設定できます。

1. ◉→「設定」→「音・バイブ・着信ライト設定」→「バイブ」
2. 変更する着信の種類を選択

3. バイブの選択操作

■ **バイブを使わないとき**
「Off」

■ **バイブのパターンから選択するとき**
「パターン1」～「パターン5」

バイブのパターンを反転表示→[―](再生)を押すと、バイブの震動パターンを確認できます。

使いこなしチェック!

設定

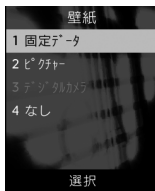
- 音量を設定する（☞P.12-12）
- 音声電話の着信音を設定する（☞P.12-12）
- 電話以外の着信音を設定する（☞P.12-12）
- 電話以外の着信鳴動時間を設定する（☞P.12-12）
- バイブレータを設定する（☞P.12-12）

待受画面

自分で撮影したお気に入りの写真などで、待受画面をお好みに設定できます。

ディスプレイの壁紙を設定する

データフォルダに保存されている静止画などを壁紙に設定できます。また、静止画を表示しないように設定することもできます。

1 ◉→「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」

2 壁紙の設定操作

■データフォルダの画像を設定するとき

ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→◉（設定）

■表示しないように設定するとき

「なし」

使いこなしチェック!

便利☞P.2-21

設定

- ディスプレイの壁紙の設定を変更する（☞P.12-13）
- メインメニューの設定を変更する（☞P.12-13）
- 待受画面に表示する情報を設定する（☞P.12-14）
- ディスプレイの明るさを調整する（☞P.12-14）
- 待受中にダイヤル入力したときの文字タイプを設定する（☞P.12-15）
- 待受中にダイヤル入力したときの文字サイズを設定する（☞P.12-15）
- 待受中にダイヤル入力したときの文字色を設定する（☞P.12-15）
- 待受中にダイヤル入力したときの背景色を設定する（☞P.12-15）
- 事業者名の表示設定をする（☞P.12-15）
- ディスプレイの表示言語を切り替える（☞P.12-15）

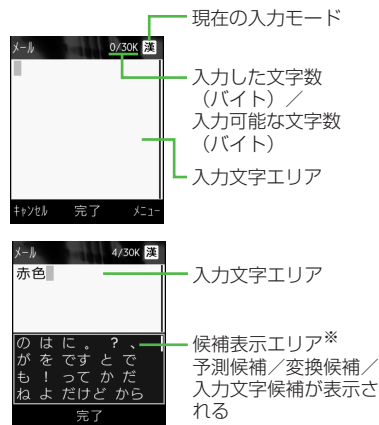
- タイムゾーンの更新の設定をする（☞P.12-15）
- タイムゾーンを変更する（☞P.12-16）
- サマータイムを設定する（☞P.12-16）
- 時刻を設定する（☞P.12-16）
- 「AM」／「PM」を設定する（☞P.12-16）
- 日付を設定する（☞P.12-16）
- 時刻の表示形式を変更する（☞P.12-16）
- 日付の表示形式を変更する（☞P.12-16）

文字入力

漢字、ひらがな、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、記号（全角／半角）、絵文字、顔文字、ハングルを入力できます。

表示	入力モード	表示	入力モード
漢	漢字／かな（➔P.2-9）	※	全角記号（➔P.2-10）
カ	全角カタカナ（➔P.2-10）	#@	半角記号（➔P.2-10）
ｶﾅ	半角カタカナ（➔P.2-10）	絵	絵文字（➔P.2-11）
A	全角英字（➔P.2-10）	顔	顔文字（➔P.2-11）
Ab	半角英字（➔P.2-10）	韓	ハングル（➔P.2-12）
1	全角数字（➔P.2-10）	a	全角英字（小文字）（➔P.2-10）
12	半角数字（➔P.2-10）	ab	半角英字（小文字）（➔P.2-10）

入力モードの切り替えについては、「入力モードを切り替える」（➔P.2-9）を参照してください。

文字入力画面の見かた

※ 候補表示エリアは、全角および半角のカタカナ、英字、数字の各入力モードでは表示されません。予測入力の機能を解除すると、漢字／かな入力モードでは［変換］（変換）や［英数カナ］（英数カナ）で文字を変換したときに表示されます。

- 日時設定やアラームの時刻設定など数字しか入力できない場合は、文字入力画面には切り替わりません。登録、設定画面の入力欄に数字を直接入力します。
- 文字の入力中や編集中に音声電話がかかってきたときは、そのまま応答してください。通話が終了すると、もとの文字入力画面に戻ります。アラーム通知が起動した場合も、アラーム通知を終了させるともとの画面に戻ります。

文字入力の流れ

入力モードの選択→文字入力→予測変換→候補を選択

入力モードを切り替える

入力モード（漢字／かな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字、顔文字、ハングル）を切り替えます。

1 文字入力画面で [文字]

2 切り替えたい入力モードを選択

- 文字入力画面で [#] を押すと記号、[*] を押すと絵文字、顔文字に切り替わります。

ひらがな／漢字を入力する

候補表示エリアに表示される予測候補を使って簡単に入力できます。予測候補を使わずに、入力したひらがなを目的の文字に変換することもできます。候補表示エリアにカタカナや絵文字などが表示されたときは、これらの文字も入力できます。
ここでは例として、「鈴木」と入力します。

1 文字入力画面で [文字]

2 「漢かな」

3 [3] (3回)

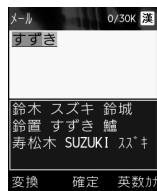
- 「す」と入力されます。

4 [◀] → [3] (3回) → [*]

- 「ず」と入力されます。

5 [2] (2回)

- 「き」と入力されます。

6 [●]

⑦ 予測候補から「鈴木」を反転表示→●(確定)

- 「゛」や「゜」を付ける場合は、濁点や半濁点を付けるひらがなを入力したあと、[＊]を押します。
- ボタンを押し間違えた場合は、[CLEAR]を押して文字を消し、もう一度ボタンを押します。
- ボタンを押しすぎた場合は、[○━]を押すと、同じボタンの1つ前の割り当て文字に戻ります。
- 続けて同じボタンの文字を入力する場合は、◀を押してカーソルを右に移動します。
- ひらがなで決定する場合は、文字を入力したあと、●(確定)を押します。
- 目的の予測候補が表示されていない場合は、[━](変換)→必要に応じて◀▶で変換する範囲を変更→▲でカーソルを候補表示エリアに移動→目的の変換候補を反転表示→●(確定)→同じ操作を繰り返してすべての文字を決定する操作をします。
- 目的の漢字に変換されないときは、漢字の読みかたを変えて入力してください。一度に変換できない2文字以上の漢字は、変換する範囲を1文字に変更して変換してください。
- 候補表示エリアに予測候補が表示されているときに[━](変換)を押すと変換候補が、変換候補が表示されているときに[━](予測)を押すと予測候補が表示されます。

カタカナ／英字／数字を入力する

① 文字入力画面で[文字]

② 入力モードを選択

③ 文字を入力

- 「゛」や「゜」を付ける場合は、濁点や半濁点を付けるカタカナを入力したあと、[＊]を押します。
- 英字入力モードで文字を入力したあとに[＊]を押すと、大文字と小文字が切り替わります。
- ボタンを押し間違えた場合は、[CLEAR]を押して文字を消し、もう一度ボタンを押します。
- ボタンを押しすぎた場合は、[○━]を押すと、同じボタンの1つ前の割り当て文字に戻ります。
- 続けて同じボタンの文字を入力する場合は、◀を押してカーソルを右に移動します。
- 漢字／かな入力モードで、文字を入力して[━](英数カナ)を押すとカタカナ／英字／数字に変換できます。例として、「くも」と入力して[━](英数カナ)を押すと、カタカナの「クモ」や英字の「C」、数字の「22277777」が変換候補として表示されます。また入力した文字の条件によっては、時刻や日付も変換候補として表示されます。

記号を入力する

￥や!などの記号を入力できます(➔P.13-10)。

① 文字入力画面で[#]

- 入力したい記号が表示されるまで[#]／[━](次ページ)を押します。

② 候補表示エリアで目的の文字を反転表示→●(選択)

- 続けて記号を入力できます。記号入力をやめるときは、[CLEAR]を押します。

- 全角記号を一度入力すると履歴が残り、候補表示エリアの記号の前に履歴が表示されます。[#]を押すごとに、全角記号の履歴→全角記号→半角記号の順で候補が表示されます。ただし、入力モードが半角カタカナ、半角英字、半角数字、ハングルの場合は、候補の表示は全角記号の履歴→半角記号→全角記号の順になります。

- 漢字／かな入力モードで、文字を入力して[—](変換)を押すと記号に変換できます。例として、「てん」と入力して[—](変換)を押すと、記号の「･」や「…」が変換候補として表示されます。

絵文字／顔文字を入力する

絵文字の入力だけでなく、記号を組み合わせることで顔文字の入力も行うことができます(➔P.13-11)。

1 文字入力画面で[*]

- 入力したい絵文字(顔文字)が表示されるまで[*]／[—](次ページ)を押します。

2 候補表示エリアで目的の文字を反転表示→◉(選択)

- 続けて絵文字／顔文字を入力できます。絵文字／顔文字入力をやめるときは、[CLEAR]を押します。

- メール本文／件名の入力画面では、絵文字の候補表示エリアで[文字]を押すと、「他社共通絵文字」と「全絵文字」を切り替えることができます。「他社共通絵文字」は、他社携帯で共通して使える絵文字を使う場合に選択します。
- 絵文字を一度入力すると履歴が残り、候補表示エリアの絵文字の前に履歴が表示されます。[*]を押すごとに、絵文字の履歴→絵文字→顔文字の順で候補が表示されます。
- 漢字／かな入力モードで、「はーと」や「でんわ」と入力して絵文字に変換できます。同様に、「わーい」や「えーん」などを顔文字に変換することもできます。

改行する

改行の操作は、どの入力モードでも同じです。

1 文字入力画面で[#]

2 改行記号を反転表示→◉(選択)

- 文末で◯を押しても改行できます。

- メールの件名入力画面など、画面によっては、改行の操作ができない場合があります。

ハングルを入力する

❶ 文字入力画面で［文字］

❷「ハングル」

❸ 文字を入力

• 画面に表示された文字に対応する数字を押して、子音と母音を組み合わせて文字を入力します。

子音の入力例	
ㄱ	［4］（1回押す）
ㅋ	［4］（2回押す）
ㄲ	［4］（3回押す）
母音の入力例	
아	［0］［1］（ㅣ）、［2］（・）
어	［0］［2］（・）、［1］（ㅣ）
오	［0］［2］（・）、［3］（ㅡ）
야	［0］［1］［2］［2］
여	［0］［2］［2］［1］
요	［0］［2］［2］［3］
왜	［0］［2］（・）、［3］（ㅡ）、［1］（ㅣ）、［2］（・）、［1］（ㅣ）

•S!メールでは受信したメールのハングルを表示できますが、S!メールの入力画面でハングルを入力することはできません。

メールアドレス／URLの一部を簡単に入力する

メールなどの一部の文字入力画面で、メールアドレスやURLの一部を簡単に入力することができます。

❶ 文字入力画面で［—］→「簡単アドレス入力」

❷ 目的のメールアドレス／URLの一部を選択

文字を消去／編集する

1 消去する文字に◎でカーソルを合わせ[CLEAR]

- カーソル上に文字がない場合は、カーソルの左側の1文字が消去されます。
- カーソル以降の文字をすべて消去するには、[CLEAR]を1秒以上押します。カーソル以降に文字がない場合は、すべての文字が消去されます。
- [終話]を押すと、文字入力を終了するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」または「いいえ」を選択します。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.2-21

- 範囲を指定して文字のコピー／カットをしたい
- コピー／カットした文字を貼り付けたい
- 文字をもとに戻したい
- カーソルを先頭／最後に移動したい
- 予測入力機能や学習機能などの設定をしたい

設定

- 文字入力画面の文字サイズを変更する（☞P.12-14）
- 文字入力履歴をリセットする（☞P.12-16）

ユーザ辞書

よく使う単語や文（最大20文字）をユーザ辞書に登録しておくと、「読み」を入力しただけで目的の単語や文が候補表示エリアに表示され、入力が簡単になります。

ユーザ辞書を編集する

1 ●→「設定」→「一般設定」→「ユーザ辞書」→「新規登録」

2 語句欄を選択→単語や文を入力

3 読み欄を選択→文字を入力

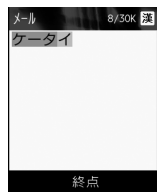
4 [—]（保存）

入力した文字をユーザ辞書に登録する

1 文字入力画面で[—]→「ユーザ辞書登録」

2 登録する文字の先頭に◎でカーソルを合わせ、●（始点）

- 現在登録されている単語を確認するときは、[—]（ユーザ辞書）→「辞書編集」を選択します。

3 ◎で範囲を指定→●（終点）

4 読み欄を選択→文字を入力

5 [—]（保存）

- 改行を含む範囲を指定すると、改行前までの文字列が語句に登録されます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.2-22

● ユーザ辞書の登録内容を削除したい

設定

● ユーザ辞書を登録する（☞P.12-16）
● ユーザ辞書の登録内容を編集する（☞P.12-16）
● ユーザ辞書の登録内容を削除する（☞P.12-16）

電話帳

本機には最大1,000件の電話帳を登録できます。USIMカードに登録できる件数は、カードの種類によって異なります。USIMカードの電話帳は、カードを差し替えることにより、他のソフトバンク携帯電話でも利用できます。
1件の電話帳に登録できる内容は次のとおりです。

項目／内容		登　録
名前／姓		
	全角／半角文字（USIMカードには「名前」として登録）	830SC本体:○（50バイトまで）
		USIMカード:○[1]
名前／名		
	全角／半角文字（USIMカードには「名前」として登録）	830SC本体:○（50バイトまで）
		USIMカード:○[1]
ヨミガナ／姓		
	半角文字（USIMカードには「ヨミガナ」として登録）	830SC本体:○（50バイトまで）
		USIMカード:○[1]
ヨミガナ／名		
	半角文字（USIMカードには「ヨミガナ」として登録）	830SC本体:○（50バイトまで）
		USIMカード:○[1]
電話番号		
	市外局番も含めて登録	830SC本体:○（32バイトまでで5件）
		USIMカード:○[1 2]
電話番号アイコン		
	7種類から選択	830SC本体:○
		USIMカード:○[3]
Eメールアドレス		
	半角英数字	830SC本体:○（128バイトまでで5件）
		USIMカード:○[1]（1件）
Eメールアドレスアイコン		
	4種類から選択	830SC本体:○
		USIMカード:×（1種類のみ）

項目／内容		登　録
フォト		
	音声電話の着信時に表示させる画像。データフォルダからの選択やカメラでの撮影が可能	830SC本体：○
		USIMカード：×
着信音		
	音声電話／メール着信音。データフォルダからの選択が可能	830SC本体：○
		USIMカード：×
バイブ		
	音声電話／メールのバイブレータを設定	830SC本体：○
		USIMカード：×
グループ		
	「グループなし」を含めた21種類の中から選択	830SC本体：○
		USIMカード：○[2]
シークレットモード		
	On/Off	830SC本体：○
		USIMカード：×
誕生日		
	生年月日	830SC本体：○
		USIMカード：×

項目／内容		登　録
血液型		
	4種類から選択	830SC本体：○
		USIMカード：×
趣味		
	100バイトまで	830SC本体：○
		USIMカード：×
会社		
	64バイトまで	830SC本体：○
		USIMカード：×
役職		
	64バイトまで	830SC本体：○
		USIMカード：×
住所		
	郵便番号は40バイトまで、国名は64バイトまで、都道府県名、市町村名、番地、追加情報は128バイトまで	830SC本体：○（2件）
		USIMカード：×

項目／内容		登　録
住所アイコン		
	2種類から選択	830SC本体：○
		USIMカード：×
ホームページ		
	1024バイトまで	830SC本体：○（2件）
		USIMカード：×
ホームページアイコン		
	3種類から選択	830SC本体：○
		USIMカード：×
メモ		
	512バイトまで	830SC本体：○
		USIMカード：×

1 登録できる文字数は、USIMカードの種類によって異なります。

2 登録できる件数は、USIMカードの種類によって異なります。

3 登録できるアイコンの種類は、USIMカードの種類によって異なります。

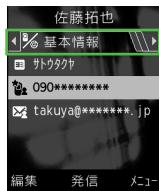
•電話帳が登録されている別のUSIMカードに差し替えた場合、差し替えて初めて電話帳を利用するときに、USIMカードの電話帳の内容を本機にコピーするかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとコピーが開始されます。

注意

•大切なデータを失わないために
電話帳に登録した電話番号や名前などは、電池パックを長い間外していたり電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。事故や故障でも同様の可能性があります。大切な電話帳などは、控えをとっておかれることをおすすめします。電話帳が消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電話帳の見かた

本機の電話帳に登録した各項目(➔P.2-14)は3つのタブに分かれています。
タブを切り替えることで情報を確認することができます。

1 →電話帳を検索し、選択(➔P.2-18)→で各項目のタブを切り替え

タブ	項目
基本情報	ヨミガナ
	電話番号
	Eメールアドレス

タブ	項目
個別設定	フォト
	着信音
	バイブ
	グループ
	シークレットモード
	誕生日
	血液型
	趣味
その他	会社
	役職
	住所
	ホームページ
	メモ

電話帳に登録する

電話帳は、830SC本体とUSIMカードに保存できます。お買い上げ時の電話帳の保存先は「本体」です。USIMカードに保存するには、保存先設定を変更します(➔P.12-11)。ここでは、電話帳を新規に登録する方法と通話履歴から登録する方法について説明します。

新規に電話帳を登録する

本機に姓名、ヨミガナ、電話番号、Eメールアドレスを登録します。

- 他の項目については、「電話帳に情報を登録したい」(➔P.2-22)を参照してください。

1 ◯→[―](新規)

- 保存先設定(➔P.12-11)が「毎回確認」に設定されている場合、保存先を確認するメッセージが表示されます。「本体」/「USIM」を選択します。

電話帳の登録画面

2 名前/姓欄を選択→名字を入力

3 名前/名欄を選択→名前を入力

4 ヨミガナ/姓欄を選択→必要に応じて名字のヨミガナを編集

5 ヨミガナ/名欄を選択→必要に応じて名前のヨミガナを編集

6 電話番号欄を選択→電話番号を入力→アイコンを選択

7 Eメールアドレス欄を選択→Eメールアドレスを入力→アイコンを選択

8 [―](保存)

- 電話番号には、0～9の数字の他、#、✱、P(ポーズ)、-、+(国際コード)を登録できます。✱、P、-は[✱]を押すごとに切り替わります。+を入力するには、[0]を1秒以上押します。
- メモリカードに保存されているファイルを着信画像や着信音などに設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。
- Samsung New PC Studioで電話帳を同期すると、「シークレットモード-On」に設定されている電話帳は、同期されません(パソコン側にバックアップされません)。「シークレットモード-Off」から「シークレットモード-On」に変更した電話帳は、「シークレットモード-On」に設定して同期した時点から同期されなくなります。パソコン側でも削除されます。Samsung New PC Studioについては、SAMSUNG ホームページ(http://jp.samsungmobile.com/pc/lineup/830download.html)からダウンロードしてご利用いただけます。

通話履歴から電話帳を登録する

通話履歴に記録されている電話番号を新規登録したり、既存の電話帳へ追加登録したりできます。

1 (着信履歴)／(発信履歴)

2 登録したい通話履歴を選択→[メニュー]→「電話帳登録」

3 電話帳の登録操作

■ **新しい電話帳に登録するとき**

「新規」→(➲P.2-17 新規に電話帳を登録する❷)

■ **既存の電話帳に追加登録するとき**

「更新」→電話帳を検索し、選択(➲P.2-18)→電話帳の登録操作(➲P.2-17 新規に電話帳を登録する❷)

電話帳を検索する

本機では、「あかさたな」、「ヨミガナ」、「グループ」の検索方法で電話帳を検索できます。

1

電話帳の一覧画面

2 [メニュー]→「設定」→「検索方法」

3 「あかさたな」／「ヨミガナ」／「グループ」

- 変更した検索方法の設定は保存されます。

4 電話帳を検索

■ **「あかさたな」を選択したとき**

電話帳が五十音、英字、ハングル、数字のタブに分かれて表示されます。

で目的の行に切り替え→で目的の電話帳を選択

・カナ欄にヨミガナ(先頭の一部でよい)を入力しても検索することができます。

■ **「ヨミガナ」を選択したとき**

電話帳がヨミガナのあいうえお順に一覧で表示されます。

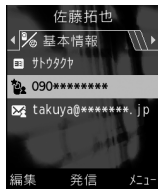
表示された一覧から目的の電話帳を選択

・カナ欄にヨミガナ(先頭の一部でよい)を入力しても検索することができます。

■ **「グループ」を選択したとき**

電話帳に登録されているグループが一覧で表示されます。

目的のグループを選択→表示された一覧から目的の電話帳を選択

・目的のグループを選択したあと、カナ欄にヨミガナ(先頭の一部でよい)を入力しても検索することができます。

電話帳の詳細画面

・セキュリティ設定のシークレットモードが「表示しない」のとき、「シークレットモード-On」に設定されている電話帳は表示されません。検索する場合は、電話帳の検索画面で[メニュー]→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→●(OK)を押して、一時的にシークレットモードを解除してから操作します。

電話帳から電話をかける

1 電話帳を検索(➲P.2-18)→●(詳細)→目的の電話番号を反転表示

2 電話の発信操作

■ **音声電話をかけるとき**

●(発信)→「音声発信」

■ **国際電話をかけるとき**

●(発信)→「国際発信」→(➲P.3-14 日本から海外へ電話をかける❸)

・一覧画面で目的の電話帳を反転表示→[メニュー]→「発信」→「音声発信」／「国際発信」を選択してもかけることができます。1つの電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、「優先電話番号設定」(➲P.2-25)の「音声通話」に設定されている電話番号(未設定の場合は1件目の電話番号)に発信します。電話番号の選択画面が表示されたとき(「優先電話番号設定」の「音声通話」が「設定なし」の場合)は、電話番号を選択してください。

・**スピード検索と検索結果からの発信**

「スピード検索設定」(➲P.12-17)を「On」に設定しているときは、ダイヤルボタンの数字を押すと、その数字に割り当てられた文字に対応する「ヨミガナ」を先頭に持つ電話帳を検索し、名前と電話番号を表示します。電話番号を反転表示→[発信]／●(選択)→●(発信)を押すと音声電話をかけることができます。

・**電話番号検索と検索結果からの発信**

4桁の数字を入力すると、その番号を先頭または末尾に持つ電話帳を検索し、名前と電話番号を表示します。電話番号を反転表示→[発信]／●(選択)→●(発信)を押すと音声電話をかけることができます。

電話帳を削除する

1

2 **電話帳の削除操作**

■ **1件削除**

削除したい電話帳を反転表示→［―］→「削除」→「1件」→「はい」

■ **複数削除**

［―］→「削除」→「複数」→削除したい電話帳をチェック→［―］（削除）→「はい」

■ **すべて削除**

本体またはUSIMカードの電話帳をまとめて削除できます。

［―］→「削除」→「全件」→操作用暗証番号を入力→◉（OK）→「はい」

- 電話帳の詳細画面で［―］→「削除」→「はい」を選択しても電話帳を削除できます。

使いこなしチェック!

便利 ☞P.2-22

- 電話帳からメールを作成したい
- USIMカードのグループを作成したい
- グループにメンバーを追加したい
- グループからメンバーを削除したい
- USIMカードに保存されているサービス番号を表示したい
- 自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい
- 電話帳からスピードダイヤルに追加したい
- 電話帳をvファイルに変換して送信したい
- vファイルを作成して「その他ファイル」フォルダに保存したい
- 本機とUSIMカードとの間で電話帳をコピーしたい
- 電話帳の詳細をBluetooth®対応のプリンタで印刷したい
- 電話帳のシークレット設定を一時的に解除したい
- メモリ使用状況を確認したい
- 電話帳から項目をコピーしたい
- 優先的に使用する電話番号やEメールアドレスを用途ごとに設定したい
- 電話番号を入力してから登録したい
- グループ名を編集したい

設定

- 優先的に登録される電話帳を変更する（☞P.12-11）
- 表示される電話帳（本機／USIMカード）を変更する（☞P.12-11）
- 電話帳の検索方法を切り替える（☞P.12-11）
- 電話帳のバックアップをとる（☞P.12-11）
- 電話帳の文字サイズを変更する（☞P.12-11）
- スピード検索の設定をする（☞P.12-17）

便利な機能

便利

メインメニューに関する便利な機能

メインメニューを設定したい

●→[―](スタイル)→スタイルを選択→◆で設定したい色を選択

- メニュー画面の表示スタイルを変更できます。

便利

待受画面の設定に関する便利な機能

静止画を回転して表示させたい

●→「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→[―](回転)→●(設定)

- [―](リセット)を押すともとの表示に戻ります。

便利

文字入力に関する便利な機能

日付や時刻を入力したい

文字入力画面で漢字／かな入力モードにし、数字が割り当てられているボタンを押してひらがなを入力→[―](英数カナ)→日付や時刻の変換候補を反転表示→●(確定)

全角の記号と半角の記号を切り替えたい

文字入力画面で、全角／半角記号の候補表示エリアの表示中に[#]

範囲を指定して文字のコピー／カットをしたい　**[コピー]／[カット]**

文字入力画面で[―]→「コピー」／「カット」→コピー／カットをする最初の文字に◆でカーソルを合わせ、●(始点)→◆で範囲を指定→●(終点)

- 文字入力画面上のすべての文字をコピー／カットする場合は、[―](全て)を押します。
- コピー／カットを行うと、コピー／カットをした内容は電源を切っても保持されます。

コピー／カットした文字を貼り付けたい　**[貼り付け]**

文字入力画面で文字を貼り付ける位置に◆でカーソルを移動→[―]→「貼り付け」

文字をもとに戻したい　[元に戻す]

文字入力画面で→「元に戻す」

- 漢字／かな入力モードで直前に行った文字の入力やカット、貼り付け、削除などの操作をもとに戻すことができます。変換した文字をもとに戻すこともできます。

カーソルを先頭／最後に移動したい　[カーソル移動]

文字入力画面で→「カーソル移動」→項目を選択

予測入力機能や学習機能などの設定をしたい　[入力／変換設定]

文字入力画面で→「入力／変換設定」

■ **予測入力機能を設定／解除するとき**

「予測入力On」／「予測入力Off」

■ **学習機能を設定／解除するとき**

「学習On」／「学習Off」

■ **入力履歴をリセットするとき**

「ユーザ辞書リセット」→操作用暗証番号を入力→(OK)→「はい」

■ **絵文字／記号の履歴をリセットするとき**

「絵／記号履歴リセット」

便利

ユーザ辞書に関する便利な機能

ユーザ辞書の登録内容を削除したい　[削除]

→「設定」→「一般設定」→「ユーザ辞書」→「辞書編集」

■ **1件削除するとき**

削除したいユーザ辞書を反転表示→→「削除」

■ **すべて削除するとき**

→「全削除」→操作用暗証番号を入力→(OK)→「はい」

便利

電話帳に関する便利な機能

電話帳に情報を登録したい

→(新規)

■ **グループを登録するとき**

で「個別設定」に切り替え→グループ欄を選択→グループを選択→(保存)

■ **シークレットモードを設定するとき**

で「個別設定」に切り替え→シークレットモード欄を選択→項目を選択→(保存)

■ **誕生日を登録するとき**

で「個別設定」に切り替え→誕生日欄を選択→生年月日を入力→(保存)

■ **血液型を登録するとき**

で「個別設定」に切り替え→血液型欄を選択→血液型を選択→(保存)

■ **趣味を登録するとき**

で「個別設定」に切り替え→趣味欄を選択→内容を入力→(保存)

■ **会社を登録するとき**

で「その他」に切り替え→会社欄を選択→会社名を入力→(保存)

■ **役職を登録するとき**

で「その他」に切り替え→役職欄を選択→役職名を入力→(保存)

■ 住所を登録するとき

⊖で「その他」に切り替え→住所欄を選択→郵便番号欄を選択→郵便番号を入力→国欄を選択→国名を入力→都道府県欄を選択→都道府県名を入力→市町村欄を選択→市町村名を入力→番地欄を選択→番地を入力→追加情報欄を選択→追加情報を入力→[―](OK)→アイコンを選択→[―](保存)

■ ホームページのURLを登録するとき

⊖で「その他」に切り替え→ホームページ欄を選択→URLを入力→アイコンを選択→[―](保存)

■ メモを登録するとき

⊖で「その他」に切り替え→メモ欄を選択→内容を入力→[―](保存)

- グループ以外はUSIMカードの電話帳には登録できません。

電話帳に着信画像を設定したい

◯→[―](新規)→⊖で「個別設定」に切り替え→フォト欄を選択

■ 保存された画像を設定するとき

「ピクチャー」→ファイルを選択→[―](保存)

- メモリカードを取り付けているときは、「ピクチャー」フォルダと「デジタルカメラ」フォルダからファイルを選択できます。

■ 静止画を撮影して設定するとき

「カメラ起動」→静止画を撮影→◉()

■ 設定した着信画像を解除するとき

「Off」→[―](保存)

- メモリカードに保存されているファイルを着信画像に設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

電話帳に着信音を設定したい

◯→[―](新規)→⊖で「個別設定」に切り替え→着信音欄を選択

■ 音声電話の着信音を設定するとき

「音声着信」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→[―](再生)→[―](選択)→[―](完了)→[―](保存)

■ メールの着信音を設定するとき

「メール着信」→「着信音選択」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→[―](再生)→[―](選択)→[―](完了)→[―](完了)→[―](保存)

■ メールの着信鳴動時間を設定するとき

「メール着信」→「鳴動時間」→時間を入力→[―](完了)→[―](完了)→[―](保存)

- メモリカードに保存されているファイルを着信音に設定すると、ファイルを本機にコピーしてから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

電話帳にバイブレータを設定したい

→(新規)→で「個別設定」に切り替え→バイブ欄を選択→着信の種類を選択→振動パターンを反転表示→(再生)→(選択)→(完了)→(保存)

電話帳からメールを作成したい【メール作成】

→メールを作成したい電話帳を反転表示→→「メール作成」→「S!メール」/「SMS」→(P.4-4 S!メールを作成・送信する❺、P.4-8 SMSを作成・送信する❺)

USIMカードのグループを作成したい【新規グループ】

→→「新規グループ」→グループ名欄を選択→グループ名を入力→(保存)

- 電話帳の検索方法を「グループ」に設定し(P.2-18)、USIM電話帳を表示した状態で作成します(P.2-25)。

グループにメンバーを追加したい【メンバー追加】

→メンバーを追加したいグループを選択→→「メンバー追加」→追加したいメンバーをチェック→(追加)

- 電話帳の検索方法を「グループ」に設定した状態で追加します(P.2-18)。

グループからメンバーを削除したい【メンバー削除】

→メンバーを削除したいグループを選択→→「メンバー削除」→削除したいメンバーをチェック→(グループ削除)

- 電話帳の検索方法を「グループ」に設定した状態で操作します(P.2-18)。
- グループから削除しても、電話帳からは削除されません。

自分の電話番号を通知するかどうかを設定して電話をかけたい【発信者番号通知/非通知】

→電話をかける相手の電話帳を反転表示→→「発信者番号通知/非通知」

■ 発信者番号通知サービスの設定に従うとき

「ネットワーク設定に従う」→/(発信)

■ 番号を通知するとき

「番号通知」→/(発信)

■ 番号を非通知にするとき

「番号非通知」→/(発信)

電話帳からスピードダイヤルに追加したい【スピードダイヤル登録】

→電話帳を検索し、選択(P.2-18)→→「スピードダイヤル登録」→登録する番号欄を選択

電話帳をvファイルに変換して送信したい【送信】

→送信したい電話帳を検索し、選択(P.2-18)→→「送信」

■ メールで送信するとき

「メール添付」→(P.4-4 S!メールを作成・送信する❷)

■ Bluetooth®で送信するとき

「Bluetooth」→(P.11-5 データを1件ずつ送信する❷)

vファイルを作成して「その他ファイル」フォルダに保存したい【データフォルダに保存】

→電話帳を検索し、選択(P.2-18)→→「データフォルダに保存」→「本体」/「メモリカード」→「はい」

- メモリカードを取り付けているときは、「メモリカード」を選択できます。

本機とUSIMカードとの間で電話帳をコピーしたい

［USIMにコピー］／［本体にコピー］

→コピーしたい電話帳を反転表示→→「USIMにコピー」／「本体にコピー」

■ 1件コピーするとき

「1件」→「はい」

- 詳細画面から電話帳を1件コピーするときは、一覧画面で●（詳細）→を押してから操作します。

■ 複数コピーするとき

「複数」→コピーしたい電話帳をチェック→（コピー）→「はい」

■ 本機／USIMカードに保存されている電話帳をまとめてコピーするとき

「全件」→「はい」

電話帳の詳細をBluetooth®対応のプリンタで印刷したい

［Bluetoothで印刷］

→電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→→「Bluetoothで印刷」→（➲P.6-12 Bluetooth®経由でプリントする❹）

電話帳を登録するときの保存先を設定したい

→→「設定」→「保存先設定」→項目を選択

表示をUSIMカード／本機の電話帳に切り替えたい

→→「設定」→「表示切替」→項目を選択

- 電話帳表示を変更すると、次に設定を変更するまで設定は保持されます。

電話帳のシークレット設定を一時的に解除したい　［シークレット一時解除］

→→「シークレット一時解除」→操作用暗証番号を入力→●（OK）

- セキュリティ設定のシークレットモードを「表示しない」にしているときに、「シークレットモード-On」に設定した電話帳を一時的に表示することができます。

USIMカードに保存されているサービス番号を表示したい　［サービス番号］

→→「サービス番号」

- USIMカードの種類によっては、「サービス番号」の項目は表示されません。

メモリ使用状況を確認したい

［メモリ容量確認］

→→「メモリ容量確認」

- 確認したメモリを削除するには（削除）を押します（➲P.10-16 登録／保存した内容を削除してメモリを整理したい）。

電話帳から項目をコピーしたい

［項目コピー］

→電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→コピーしたい項目を反転表示→→「項目コピー」

優先的に使用する電話番号やEメールアドレスを用途ごとに設定したい

［優先電話番号設定］

→設定したい電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→→「優先電話番号設定」→「音声通話」／「メール」→電話番号／Eメールアドレスを選択→（保存）

- 優先的に使用する電話番号やEメールアドレスを指定しないときは、項目を反転表示→（リセット）を押すと、「設定なし」に設定できます。
- 優先電話番号設定は本機の電話帳にのみ設定できます。

電話帳からホームページに接続したい

→ホームページが登録された電話帳を検索し、選択（➲P.2-18）→接続するホームページアドレスを反転表示→●（接続）

電話帳を編集したい

→編集したい電話帳を検索し、選択(➲P.2-18)→[—](編集)→(➲P.2-17 新規に電話帳を登録する❷)

- 「シークレットモード-On」に設定している電話帳を編集するときは、あらかじめセキュリティ設定のシークレットモードを「表示する」にします。

電話番号を入力してから登録したい【電話帳登録】

電話番号を入力→[—]→「電話帳登録」

■ **新規で登録するとき**

「新規」→(➲P.2-17 新規に電話帳を登録する❷)

■ **追加で登録するとき**

「追加」→電話帳を検索し、選択(➲P.2-18)→電話帳の登録操作(➲P.2-17 新規に電話帳を登録する❷)

- 通話中に[—]→「電話帳登録」を選択しても、同様に登録できます。
- 姓名、ヨミガナ、Eメールアドレス、グループ以外の項目はUSIMカードの電話帳では登録できません。

グループの設定を変更したい

◉→「電話帳」→「グループ設定」→設定したいグループを選択

■ **着信画像を設定するとき**

画像欄を選択→ファイルの保存場所を選択→ファイルを選択→[—](保存)

■ **音声電話の着信音を設定するとき**

着信音欄を選択→「音声着信」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→[—](再生)→[—](選択)→[—](完了)→[—](保存)

■ **メールの着信音を設定するとき**

着信音欄を選択→「メール着信」→「着信音選択」→ファイルの保存場所を選択→ファイルを反転表示→[—](再生)→[—](選択)→[—](完了)→[—](完了)→[—](保存)

■ **メールの着信鳴動時間を設定するとき**

着信音欄を選択→「メール着信」→「鳴動時間」→時間を入力→[—](完了)→[—](完了)→[—](保存)

■ **バイブレータを設定するとき**

バイブ欄を選択→着信の種類を選択→振動パターンを反転表示→[—](再生)→◉(選択)→[—](完了)→[—](保存)

- 設定された画像やバイブレータ設定を解除して保存するときは、画像欄／バイブ欄を反転表示→[—](リセット)→[—](保存)を押します。
- 設定された各着信音を解除して保存するときは、着信音欄を選択→リセットしたい項目を反転表示→[—](リセット)→[—](完了)→[—](保存)を押します。各着信音を一度に解除するときは、着信音欄を反転表示→[—](リセット)→[—](保存)を押します。
- 本体のグループにのみ設定できます。
- 着信画像や着信音などを電話帳ごとに個別に設定している場合は、グループごとの設定よりもそちらが優先されます。

グループ名を編集したい【本体グループから表示】／【USIMグループから表示】

◉→「電話帳」→「グループ設定」→[—]→「本体グループから表示」／「USIMグループから表示」→編集したいグループを選択→グループ名欄を選択→グループ名を入力→[—](保存)

- 表示切替(➲P.2-25)が「本体」のときは「USIMグループから表示」、「USIM」のときは「本体グループから表示」が表示されます。